

## レジリエンス工学シンポジウム

主 旨： レジリエンス工学研究センターが平成 25 年 4 月に設立されてから今春で 5 年を迎えます。この間、東日本大震災と福島事故からの復興は依然としてわが国の重要課題であるとともに、熊本地震など新たな自然災害の発生、国際テロの脅威や地政学的リスクの高まり、少子高齢化、国際経済環境の変化に対する企業の適応などのさまざまな課題が持ち上がっており、社会のレジリエンスが一層重要になっております。そこで、この機会に当センターの研究成果をご報告するとともに、レジリエンス工学研究の今後の展望について議論するべく、レジリエンス工学シンポジウムを開催いたします。

主 催： 東京大学工学系研究科レジリエンス工学研究センター

協 賛： システム創成学専攻、原子力国際専攻、技術経営戦略学専攻

日 時： 平成 30 年 3 月 5 日（月） 13:00 – 17:40

会 場： 東京大学本郷キャンパス工学部 3 号館 3 1 講義室

参 加： 無料、事前登録不要

### プログラム

13:00 開会挨拶

13:10 大都市重要インフラのレジリエンス分析

古田 一雄

13:40 レジリエンス工学におけるマルチフィジックスシミュレーション技術の役割

酒井 幹夫

14:10 招待講演 レジリエンスとサステナビリティをめぐって：早稲田大学レジリエンス研究所の 7 年の経験から

松岡 俊二（早稲田大学レジリエンス研究所）

15:00 休憩

15:15 官民インフラ事業におけるレジリエントな制度設計

元橋 一之

15:45 数理計画法によるエネルギーシステムのレジリエンス分析

小宮山 涼一、藤井 康正

16:30 金融レジリエンス情報学

坂地 泰紀

17:00 総合討論

17:40 閉 会